

2026 年度田子のまち事業計画

はじめに

昨年度も職場づくりに力を注いだ年でした。「ありがとうを言葉で伝えよう」という施設スローガンをみんなで考え、職員間で感謝の気持ちを伝えあうことで、お互いを思いやる気持ちがユニット内環境改善につながることを実感しました。しかし、その一方で職員の離職が続き、人材の定着と育成が大きな課題として浮き彫りになりました。そんな人材不足の中でも、施設理念である「二度とないこの瞬間をあなたらしく輝ける場所に」を実現するために、職員一丸となり、日々のケアに取り組みました。この1年で20名を超えるお看取りを経験し、ほとんどの方が田子のまちで最期を迎えました。人生の最期に関わり、自分だったらどう過ごしたいか深く考えさせられ、私たちも成長させてもらっていると感じることが多かったと思います。また、ご家族から感謝の言葉を多くいただき、それは私たちのケアの評価だと感じています。これからも、入居者様・ご家族が安心して、笑顔で過ごせる日々を大切に、施設理念を中心とした質の高いケアの提供をこれからも追及していきたいと思えます。

田子のまちも開所から13年となり、建物の修繕や家電の買い替えが多くなってきました。法人介護事業の重点課題でもある「経営改善」ですが、稼働目標を達成し介護報酬は安定しても、想定していなかった出費が増え、経営面でかなり影響を受けました。今後もますます経費は増えていくだろうと予想し、予算に反映していきたいと思えます。

来年度も、働きやすい職場環境整備に力を注ぎ、職員全員が稼働を意識した、一丸となった経営を目指していきます。そして、介護職員の処遇改善を実現するための学習や署名活動の取り組みも強めていきたいと思えます。

2026 年度目標

- ① 施設理念を中心に入居者様・利用者様の生活を支えます。
- ② チーム作りを意識し、働きやすい職場を作ります。
- ③ 重大事故を無くします。
- ④ 職員のスキルアップのため、学ぶ機会を増やします。
- ⑤ 稼働率 特養 97%・SS82.5%を目指します。
- ⑥ 社会保障運動へ職責が率先して参加し、社会保障運動の意義を職員へ伝えます。
- ⑦ 地域にある福祉施設としての役割を理解します。

2026 年度取組み

- ① ご利用されている方々の要望に寄り添い、理念に沿ったケアを行います。
- ② 「ありがとうを言葉で伝えよう」というスローガンを職員全員で実践します。

- ③ ヒヤリハットで気付きを増やし、重大事故を防ぎます。
- ④ スキルアップ研修・民医連研修により多くの職員が参加できるよう計画的に進めます。
- ⑤ 稼働率目標達成に向け、毎月の動向を各会議内で確認し、意見を出し合います。
- ⑥ 福祉ウェブに職責者は率先して参加します。
- ⑦ 地域の活動に参加、ボランティア受け入れを積極的行います。

I 長期部門

【長期相談員】

2026 年度目標 スローガン「ありがとう」を言葉にして伝えよう

- ① 年間 97%の稼働を達成します。常に稼働率を意識し、毎月振り返ります。
- ② 入居の相談には速やかに対応します。抱えている様々な問題に対応出来るよう、知識を増やします。

2026 年度取り組み

- ① 退居から入居までの期間を 3 週間以内に進めます。
- ② ユニットの状況を確認し、受け入れ態勢をユニット・ケアマネ・医務・栄養士と一緒に考えます。
- ③ 入居の相談や申し込みがあった場合は、なるべく細かく状況（本人の状態、ご家族の状況や思い・要望 等）を聞き取り、相談員同士で情報を共有します。
- ④ 判定順位の高い方の状況確認・実態調査を進め、次期入居を見据えて対応します。
- ⑤ 入居判定委員会を随時開催します。
- ⑥ 介護保険制度や成年後見人制度など、各研修会へ積極的に参加し、自己研鑽に努めます。

【施設ケアマネジャー】

2026 年度目標

- ① 入居者様の「楽しみ」や「生きがい」をユニット全体で見つけられる視点を持ち、多職種だけでなく、ご家族もできる限り巻き込みながら、そのケアプランを実現させていきます。
- ② ご家族とこまめな情報共有を行い、安心して過ごしていただけるよう信頼関係を構築します。
- ③ 多職種と連携を図ります。入居者様・ご家族の対応について、ケアマネだけではなく

く施設全体で対応できるよう仕組みを作ります。

2026 年度取り組み

- ① 願いを叶えましょうシート・24 時間シートを活用し、入居者様の「楽しみ」や「生きがい」、ご家族の想いを一つでも多く引き出し、ケアプランにつなげます。
- ② ケアプランの目標について、ご家族の皆様にも協力いただきながら実現に向かっていけるよう、担当者会議の中や日常の中で情報共有し、積極的に声掛けをしています。
- ③ 電話やメール等のツールもうまく活用しながら、ご家族と職員とが信頼関係を築いていけるように一緒に取り組みます。必要な場面で必要な職種が直接ご家族の対応を行えるように調整します。
- ④ ケアマネ間だけでなく相談員とも連携を図ります。ご家族の対応や入退院の対応についてスムーズにやりとりができるようにします。
- ⑤ 看取りの学習会を開催します。
- ⑥ 外部研修（仙台市・ケアマネジャー協会主催等）に参加し、ケアマネジャーとしてのスキルアップに努めます。

【春風】

2026 年度目標

- ① 入居者様の「願い」を叶えます。
- ② 職員同士、支え合い働きやすい職場環境を作ります。

2026 年度取り組み

- ① 入居者様・ご家族のご希望や願いを伺い、「ご希望・願いシート」を活用しながら、各入居者様 1 つ以上叶えます。
- ② 職員同士お互いを思いやり、日々「ありがとう」と感謝を伝えます。
毎月のユニット会議内で悩みや困りごとについて話し合ったり、感謝を伝える時間を作ります。
- ③ ご家族と面会時やメール、電話での情報共有を行い、信頼関係の構築に努めます。
- ④ 毎月のユニット会議で、排泄用品の種類や使用頻度を見直し、コストダウンに繋がります。
- ⑤ 署名活動の内容に関心を持ち、積極的に参加します。

【ふたば】

2026 年度目標

- ① 一人一人に合わせた暮らしを共に作ります。
- ② 互いに思いやりの気持ちを持ち、働きやすいユニットを作ります。

2026 年度取り組み

- ① 暮らしの中で、入居者様のやりたいことや暮らしの継続が出来る様に入居者様の思い、ご家族様と情報共有をしながらその方に合わせたケアを行います。
- ② 日々の様子がしっかりわかるように、ご家族様にメールやお電話、面会時にご様子を詳しくお伝えしご家族様との信頼構築に努めます。
- ③ 「ありがとう」「すみません」を、互いにしっかりと伝え合い、気持ちよく仕事が出来する環境を作ります。また、提出物の期日をしっかりと守り忘れていたら互いに声を掛け合い助け合えるようにします。
- ④ 普段使用している物、ケアに関することを全員で見直しコスト削減に努めます。
- ⑤ 介護に携わる者として、社会保障制度の改善に向けて署名や財政活動等にユニット全員で取り組みます。

【夏月】

2026 年度目標

- ① 入居者様の想いに寄り添い、安心して暮らせるケアをします。
- ② 職員が笑顔で働ける、声を掛け合えるユニットにします。

2026 年度取り組み

- ① 情報共有をし、ケアの見直し、統一に取り組みます。また、入居者様の望みや想いを知り、個別ケアに繋がります。
- ② 助け合い、感謝ができる関係を築き、互いに働きやすいユニットを作ります。
- ③ ケアの見直しとともにパット類等物品の見直しを行い、コストダウンに繋がります。
- ④ 職員が働きやすい環境を作るため、一筆でも多く署名を集められるように活動に参加します。

【すずか】

2026 年度目標

- ① 入居者様の想いに寄り添い、穏やかに楽しみながら生活を過ごせるよう支援しま

す。

- ② 職員がゆとりをもって仕事ができるよう、コミュニケーションを深め、ユニットの明るい雰囲気づくりに努めます。

2026 年度取り組み

- ① 入居者様の願いを汲み取れるよう、コミュニケーションを大切に「この日しかない1日」を意識して過ごします。
- ② 入居者様の変化に迅速に対応できるよう、ユニットから発信し、他職種も含めて情報共有し、どう対応するべきか相談する機会を持ちます。
- ③ 情報が滞らないように申し送りノートだけでなく口頭でも報告し、コミュニケーションを深め、職員同士でフォローし合います。
- ④ ご家族には面会だけでなくお電話でも状態報告をし、不安なく過ごしていただけるように努めます。
- ⑤ 物品を丁寧に扱い、節電を心掛け、無駄使いをしません。
- ⑥ 署名活動に積極的に参加します。

【秋晴】

2026 年度目標

- ① お互いを思いあい、いつでも協力し支えあうユニットを作っていきます。

2026 年度取り組み

- ① 入居者様、家族様、ユニット職員同士、多職種とコミュニケーションを取る際、互いに不快な思いを与えないよう、言葉遣いや態度に注意して関わります。
- ② 日々の関わりを大切にし、入居者様の思いをくみ取り実現できるよう、ケア記録も充実させていきます。
- ③ 必要な情報は全員が確実に把握できるよう、口頭での伝達だけでなく、申し送り表やノートに記入し情報を共有、ケアの統一を行います。
- ④ 家族様の面会時には様子を報告、またはメールや電話で情報を伝達していきます。
- ⑤ オムツやパットの見直しを適宜行い、節電・節水などの経費削減を意識し取り組みます。
- ⑥ 内外部の学習会・講習に参加し、スキルアップに努めます。
- ⑦ 署名活動に積極的に取り組みます。

【みのり】

2026 年度目標

- ① 相手への感謝を忘れず、互いに尊重し自然に助けあえる関係を築きます。
- ② 入居者様の些細なことに気づき、希望をかなえられるように、自分らしく生活できるよう支えています。

2026 年度取り組み

- ① ご家族の面会時に一言でも最近の様子を伝えられるようにし、面会以外でもメールも活用して入居者様の状態を報告し、良い関係性を保っていきます。
- ② 職員同士の声掛けを増やすことでケアを統一し、スムーズに仕事が出来ようになります。口頭ではもちろん、ノートや付箋等使用して全職員に伝わるようにします。
- ③ 物価高のため物品を少しでも節約し、大事に扱いコスト削減に努めます。使用していない居室の電気やテレビはこまめに消していきます。
- ④ 特に介護の分野などの署名については積極的に行います。

【美冬】

2026 年度目標

- ① 入居者様の願い、楽しみを1つでも多く実現できるように努めます。
- ② 職員同士思いやり、感謝の気持ちを持って「ありがとう」を伝えます。

2026 年度取り組み

- ① 入居者様の体調の変化に早く気付く事が出来るように日々の状態観察をします。入居者様の様子の変化に合わせ多職種と連携をとりながら、変更点など情報共有に努めます。
- ② 職員間で相談し合いながら、お互いが感謝の気持ちを持って「ありがとう」が伝えられるチーム作りに努めます。
- ③ 協力ユニットにも目を向け、情報共有とコミュニケーションを取り、統一したケアに努めます。
- ④ 節電に心掛け、物は丁寧に扱い、コスト削減に努めます。
- ⑤ 署名活動に参加します。

【こうめ】

2026 年度目標

- ① 入居者様、ご家族様の思いに寄り添い、「あなたらしく」生活が送れる支援を行います。
- ② お互いを思いあい、助け合える働きやすいユニットを作ります。

2026 年度取り組み

- ① 入居者様一人一人がやりたいこと、思い、その方らしい暮らしの継続ができるよう、日々のかかわりで得た情報をケア記録に反映させていきます。また、職員間、他職種、ご家族と日々情報を共有し、一人一人に合ったケアを行います。
- ② 入居者様のご様子を面会や電話、メール等でご家族様に情報伝達し、信頼関係を築いていきます。
- ③ 職員間でありがたい感謝の言葉をたくさん使い、思いやりを持って働きやすい環境を作ります。
- ④ 申し送り表やノートを活用し情報共有を行います。
- ⑤ 定期的に入居者様の状態、状況にあったケアの検討を行い、業務改善に取り組めるよう都度全員で見直しコスト削減を目指します。
- ⑥ 署名活動に取り組みます。

Ⅱ 短期部門

【短期相談員】

2026 年度目標 スローガン「ありがとう」を言葉にして伝えよう

- ① 年間稼働率 82.5%を達成します。
- ② 利用者、家族の満足度を向上させます。
- ③ 安心して利用することができるよう、信頼できるサービスの提供を行います。

2026 年度取り組み

- ① 利用者様、ご家族の想いに寄り添い信頼関係の構築に努めます。
- ② 苦情、事故発生時の迅速な報告と対応を行い、原因の検証、再発防止策を検討しサービスの向上に努めます。
- ③ ケアマネジャーや訪問看護、医師とも連携を図り、最新の状況を情報共有できるように努めます。
- ④ 居宅介護支援事業所を対象に意向調査を実施し、調査結果をもとに稼働率向上に

繋げていきます

- ⑤ 各研修に参加し、自己研鑽に努めます。

【花梨】

2026 年度目標

- ① 利用者様が安心してご利用できるユニットを目指します。
- ② ありがとうございますを伝えられるユニットを目指します。

2026 年度取り組み

- ① ケアの質を意識し、利用者様が安心して過ごせるようにします。
- ② ユニット会議でありがとうございますを伝える場を作ります。
- ③ 稼働率を意識して経営への理解を深めます。
- ④ 署名活動やカンパ活動へ参加します。

【撫子】

2026 年度目標

- ① 利用して頂く方々に「利用して頂きありがとうございます。」の気持ちを持ちながら関わります。
- ② 職員間で「ごめんなさい。」「すみません。」ではなく「ありがとう。」で伝え互いに敬い協力しています。

2026 年度取り組み

- ① 自分の言動に責任と意味を持ちケアが行えるよう、職員間での声かけ確認や、ユニット会議で話し合います。
- ② 職員間で「ごめんなさい。」「すみませんでした。」をできるだけ「ありがとう。」「ありがとうございます。」に変えて伝えていく。
- ③ 入退所などで物を移動することが多いので、煩雑になり壊さないように努力します。
- ④ 署名やカンパに協力します。

Ⅲ各部署

【医務】

2026 年度目標

- ① 嘱託医や協力機関と連携し、必要な医療の提供が行える様にします。
- ② 入居者様やご家族の想いを理解し、その時の状況や状態に合わせた対応ができるように、多職種で連携し取り組みます。

2026 年度取り組み

- ① 医療的な側面から多職種と連携し、受診や往診など必要な医療を提供します。
- ② 記録やメールなどを活用し、多職種間での情報共有や伝達が正確に行えるようにします。
- ③ 状態の変化や病歴により、今後予測される事を早期に把握し、安定した生活が送れるように支援します。
- ④ 研修会への参加や自己研鑽に努めます。

【食養】

2026 年度目標

- ① 入居者様が季節や風習を感じることができるお食事を提供します。
- ② 入居者様とご家族の「想い」に寄り添った栄養管理に取り組みます。
- ③ 間違いや無駄のない食数と食材の管理をします。

2026 年度取り組み

- ① 田子のまちブログを活用し、日々の食事や行事食等について発信します。
- ② ミールラウンドを行い、食事状況の確認や入居者様と直接に関わる機会を増やします。
- ③ 内外部や WEB で行なわれる学習会に参加し自己研鑽に励みます。
- ④ 多職種と連携して入居者様の情報を共有し、同じ方向性のもとで栄養ケアマネジメントを行います。
- ⑤ 食養会議では、作業工程について確認や改善点について話し合う場を設け、統一した作業が行えるようにします。
- ⑥ 食養内の連絡ノートを活用し、同じ情報を共有できるようにします。

【事務】

2026 年度目標

- ① 業務効率化を図り超勤を減らします。
- ② 多職種との連携を図り、経営改善に努めます。

- ③ 共済活動と社会保障運動を推進します。

2026 年度取り組み

- ① 業務内容と役割分担の見直しを行うとともに、スケジュール管理を徹底します。
- ② 研修・学習会への積極的な参加と予算管理テキストの活用で、事務職員としてのスキルアップ・業務のスピード向上・ミス削減に努めます。
- ③ 多職種と協力して、事業計画に基づいた予算の作成と管理に努めます。
- ④ 全職員で目標達成できるよう、毎月経営報告を行い経営状況の見える化を図ります。
- ⑤ 社会保障運動に積極的に参加し、情勢の学習に努め職員へも発信します。
- ⑥ 共済活動の広報活動に努め、職員の福利厚生充実を目指します。
- ⑦ 入居者様、ご家族、職員、来客、すべてに対し明るく丁寧で親切な対応に努めます。

【研修】

2026 年度目標

- ① 内部研修の年間予定をたて、主催部署、委員会へ働きかけます。
- ② 楽しく学べるよう、開催方式や研修内容を工夫します。
- ③ スキルアップ研修に積極的に参加します。

2026 年度取り組み

- ① 年間予定を主催委員会や部署に直接伝えます。年度最初の委員会や会議で学習内容、講師の検討をします。計画通り開催できるようサポートし、確認を行います。

4 月	* 看取りについて	10 月	* 高齢者虐待② * 災害 BCP 研修② * 防災計画研修
5 月	* 感染症蔓延防止（食中毒について）研修①・シミュレーション① * 災害 BCP（安否確認システム）BCP シミュレーション①	11 月	* 感染症蔓延防止（インフルエンザとノロウイルス）研修②・シミュレーション②
6 月	* 高齢者虐待①	12 月	* 認知症の理解と対応
7 月	* リスクマネジメント（KYT）①	1 月	* リスクマネジメント② * 口腔ケア学習会
8 月	* 身体拘束廃止① * 火災訓練（夜間想定）①	2 月	* 身体拘束廃止②
9 月	* リスクマネジメント（夜間捜	3 月	* 火災訓練（日中想定）②

	索) ＊感染 BCP（感染症発生初動対応）BCP 研修①・BCP シミュレーション②		＊新人研修
--	---	--	-------

※入職時に、高齢者虐待、身体拘束、リスクマネジメント、感染症、ハラスメント・BCP についての研修を行います。

- ② リーダー会議、委員会で開催し、その後ユニット会議でリーダーや委員が講師となって開催する方式を積極的に取り入れ、多くの職員が同じく学びます。
- ③ 主催委員会や担当を明確にし、学習内容資料をそれぞれ担当が作成します。土台を作り、必要な内容を職員全員が学べるようにします。
- ④ 研修案内が届いたら、参加者を募り、または施設として参加してもらいたい職員へ働きかけます。

IV委員会

【安全衛生委員会】

2026 年度目標

- ① 働きやすい、働き続けたいと思える職場環境づくりを目指します。
- ② 施設内外の危険箇所に気付き、必要な対応を行います。

2026 年度取り組み

- ① ユニット内の環境（温湿度、明暗差、危険箇所等）の把握し対応策を検討します。
- ② 腰痛予防ベルトの使用状況を把握し、福祉用具の活用を励行します。
- ③ ストレスチェック受検率 100%を目指し促進活動を行います。
- ④ 労災ゼロ（腰痛、転倒、精神衛生等）の啓蒙活動を行います。
- ⑤ 季節に合った労働上の注意点を周知します。
- ⑥ 委員会内で学習会を開催します。

【生産性向上推進委員会】

2026 年度目標

- ① 入居者様の安全とケアの質の向上を目指します。
- ② 職員一人一人が働きやすく、能力を発揮できる職場環境を整えます。

2026 年度取り組み

- ① 福祉用具を積極的に活用し、入居者様と職員の双方に安全と安心なケアを提供します。
- ② 超過勤務について、詳細を把握し、委員会内で共有します。業務の偏りがないか話しあい、改善に向け取り組みます。
- ③ 有給・リフレッシュ休暇の取得状況を正確に把握します。休暇を有効的に活用し、ワークライフバランスを推進します。また、職員みんなが公平に取得できるよう、協力を呼びかけます。

【感染症対策委員会】

2026 年度目標

- ① 感染源を「持ち込まない」「持ち出さない」「広げない」を周知徹底し、感染防止に努めます。
- ② 年 2 回学習会・シミュレーションを開催し、知識を深めるとともに、職員の感染症への意識向上・感染防止に繋がります。

2026 年度取り組み

- ① 感染症発症時の対応マニュアルを定期的に確認し、職員への周知を行います。ユニット間での疑問、課題、問題点がある場合は委員会で共有し対応を検討します。
- ② 感染症に関する勉強会・感染対応のシミュレーションを年 2 回実施し、職員へ周知・共有します。勉強会やシミュレーション方法について、分かりやすく学べる方法を委員会の中で検討します。
- ③ 年 2 回手洗いチェッカーを実施し、正しい手洗いの意識付け・方法の習得と確認を行います。
- ④ 外部研修に参加して感染症に関わる知識を深め、更に委員会内で伝達研修を行います。

【褥瘡対策委員会】

2026 年度目標

- ① 褥瘡の早期発見と予防に努めます。
- ② 褥瘡についての学習会を実施し知識向上に努めます。

2026 年度取り組み

- ① 日頃から個々の入居者様の皮膚状態を把握し、褥瘡にならないようにユニット内でのケアの見直し、統一を図ります。また、必要時には多部署と情報の共有を行います。
- ② 新エアマット基準表の活用と周知を行います。ユニット会議内ではエアマットの使用について検討し、委員会内での報告・相談が行えるように継続します。
- ③ 外部研修での学びを大事にし、より多くの職員が参加できるようにしていきます。研修に参加した職員は伝達研修を行い、広く職員の知識が深まるようにします。

【高齢者虐待防止委員会】

2026 年度目標

- ① 「高齢者虐待は絶対に許さない」という施設としての対応を明確にします。
- ② 苦情、事故報告は速やかに原因究明と対策検討を行い対応します。入居者様、ご家族へ誠意を持って対応します。

2026 年度取り組み

- ① 高齢者虐待についての学習会を 6 月・10 月に開催し、職員の知識、意識を高めます（内容分類、発生要因、特徴、介護にかかわる職員の責務 等）。
- ② 認知症学習を開催し、日々のケアを振り返るとともにケアの質向上に努めます。
- ③ 田子のまちスローガン「ありがとうを言葉にして伝えよう」を実践します。
- ④ 事故報告や苦情報告の中で気になる事例がある場合は、職責会議と同時に開催し、対応について検討します。
実際に改善されているかどうかを委員全員で確認します。
- ⑤ 緊急を要する事例が起きた場合は、臨時会議を開催します。

【事故対策検討委員会】

2026 年度目標

- ① 重大事故、服薬事故、ヒヤリハットを分析し事故対策の検討と実施、評価を行い、事故防止に努めていきます。
- ② 各ユニットで事故対策に悩んでいる事例を委員会で共有し、対応策を皆で考えます。
- ③ 誤薬撲滅委員会と連携し、服薬マニュアルのチェックを行います。
- ④ 搜索訓練を行い、不測の事態になっても慌てず対応できるようにします。
- ⑤ 年 2 回、リスクマネジメント学習会を開催し、委員が自ら伝えられるようにします。

2026 年度取り組み

- ① 重大事故や服薬事故、また各ユニットで対応に悩んでいる事例の検証を行い、多角的な視点から再発防止策を検討していきます。
- ② 服薬マニュアルを守って実施できているかどうか、実践チェックを行います。各ユニットで出来ていない項目やどうしたらできるかについて話し合い、同じような服薬事故やヒヤリハットが起きないように、原因分析・対策検討・その後の評価を行います。
- ③ ヒヤリハットを集計・分析し、各ユニットで活かせるような対策の検討・実施、その後の評価を行い、事故を未然に防ぎます。ヒヤリハットが多く出るよう、それぞれのユニットで声がけを行います。
- ④ 新しい職員や新たに夜勤リーダーになる者を対象とした搜索訓練を定期的に実施します。その後、搜索マニュアルの不備を検証し、マニュアルの見直しを行います。
個人情報シートを会議ごとに確認します。
- ⑤ 年間の研修予定を立て、学習会を開催します。
 - ・リスクマネジメントの勉強会（7 月、1 月）
 - ・夜間搜索訓練学習（9 月）
- ⑥ 毎月第 2 金曜日 13 時半に委員会を開催します。

【身体拘束廃止検討委員会】

2026 年度目標

- ① 人権擁護・高齢者虐待・身体拘束・不適切なケアへの理解を深め、ユニットの職員に対して自分の言葉で説明出来るようにします。
- ② 研修の年間予定を立て、年 2 回学習会を開催します。
- ③ 学習会や委員会で得た情報をユニットの職員と共有し、重大事故発生の防止に努めていきます。

2026 年度取り組み

- ① 各ユニットで「グレーゾーン」と思われるケアについて意見をまとめます。毎月委員会内で、1 ユニットずつ順番に報告し、意見交換をします。その内容を各ユニットに持ち帰り、情報を共有することで、ケアの質の向上に繋げていきます。
- ② 委員会内でセンサーマットの使用状況を報告します。使用目的、使用頻度について確認し、必要性があるかどうかを検討します。
- ③ 8 月と 2 月に身体拘束についての学習会を行います。学習会を通し、ユニットの

職員にも理解を深めてもらいます。各ユニット会議で委員が主体となり行います。

- ④ 毎月第2金曜日 13時半に会議を開催します。

【暮らしを考える委員会】

2026 年度目標

- ① 生活や暮らしに役立つ情報の共有と発信を行います。
- ② 介護情勢の学習を行い、医療福祉の制度を改善する運動に参加します。

2026 年度取り組み

- ① 委員会で毎回生活や暮らしに関わるテーマを取り上げて意見交換を行い、役立つ情報はG Sなどを利用して広く職員へ発信します。
- ② 原水禁世界大会への職員派遣の為、田子のまち独自の財政活動を計画し、世界平和について考える機会をつくります。
- ③ 福祉ウェブに参加し、介護職員の処遇改善や介護保険の見直しを求め街頭署名に取り組みます。職員へひとり 10 筆目標を達成できるよう呼びかけます。

V 年間計画

年間計画2026				
	委員会	行事	研修	法人研修・民医連研修
4月			看取りについて	
5月	生産性向上推進 お祭り実行委員会		感染症蔓延防止 学習①・シミュレーション①（食中毒について） 災害BCP（安否確認システム） BCPシミュレーション①	5/15～16・5/29～30 1年目前期研修（第Ⅰ課）
6月	災害対策（年1）		高齢者虐待①	
7月	生産性向上推進 お祭り実行委員会	定期採血 健康診断	リスクマネジメント①	7/3～4・7/17～18 2年目研修（第Ⅲ課）
8月			身体拘束廃止① 火災訓練（夜間想定）①	
9月	お祭り実行委員会	ストレスチェック	リスクマネジメント（夜間捜索） 感染BCP（感染症発生初動対応）BCP研修①・BCPシミュレーション②	9/4～5・9/18～19 3年目研修（第Ⅳ課）
10月	生産性向上推進	田子のまちまつり 胸部レントゲン	高齢者虐待② 災害BCP研修② 防災計画研修	10/16～17・10/30～31 1年目後期研修（第Ⅱ課）
11月		ワクチン	感染症蔓延防止 学習②・シミュレーション②（インフルエンザとノロウイルス）	
12月			認知症について	
1月	生産性向上推進	定期採血 健康診断	リスクマネジメント② 口腔ケア学習会	
2月			身体拘束廃止②	
3月			火災訓練（日中想定）② 新人研修	
毎月開催委員会：事故対策・身体拘束廃止検討・虐待防止・感染症対策・褥瘡予防・安全衛生・暮らしを考える				